



# 丹羽消防署 命を守る消防士

丹羽消防署（大口町、扶桑町）には、消防本部のほか、大口出張所・扶桑出張所があり、住民の皆さんの安心安全な生活を守るため、火災や救急時に素早く対応できるように日々の準備と訓練をおこなっています。今回は、消防士で、出動隊に所属する黒谷宗平さん（25）にお話を聞きました。

**消防士になって4年目とのことですが、消防士を志したきっかけは何ですか？**

父が現役の消防士で、幼いときから「かっこいいな」と憧れていました。

はつきりと将来の職業として目標にしたのは高校2年生のときです。バスケットボールに打ち込む中、前十字じん帯（ひざのじん帯）を断裂。

初めは捻挫だと診断されたのですが、1か月たっても走れるようにならず、病院で精密検査を受けて大げがだとわかりました。完治は望めず選手生命を絶たれ、目の前が真っ暗に。実

力主義の部活で、後輩からは雑用を頼まれたり、コーチからはマネージャーへの転向を勧められました。

目標を見失い、つらい日々を送っていた頃、父に誘われて消防署に行き、消防士でありな

がら命の危険がある人に応急処置を

おこなう救急救命士が、懸命に訓練する姿を間近で見ました。これまで漠然と憧れていた「消防士」という職業が、そのときからはつきりと目標に変わりました。

その後、消防士の専門学校に進学し、在学中に救急救命士の資格も取得しました。今となっては、あの時のつらい経験があったから自分ごとまわり成長できたと思います。



▲黒谷宗平さん

消防士もアスリートと同じような訓練をされていると聞きますが、  
任務をこなすために心掛けていることはありますか？

消防署内には、トレーニングルームがあり、常に懸垂やベンチプレスなどの筋トレは欠かしません。高校の時のけがの後遺症で今でも膝が弱いので、補うために特に膝の周りの筋肉を鍛えるように心掛けています。食事は、筋力をつけるため鶏の胸肉やささみなどの良質なたんぱく質を摂るようにしています。いつでも「人の命を救う」という使命を忘れないよう生活しています。



消防士になってよかったと思う瞬間はどんなときですか？

救急の現場で、思った通りに活動できた時はやりがいを感じます。特に、患者さんに応急処置をして家族の方にお礼をいわれたときは、人のために役に立てたと思えてとても

うれしく、やりがいを感じます。自分はこの仕事に就いてまだ日が浅いので、これからどんどん経験を積んで、より迅速的確に動けるようにスキルを磨いていきたいです。

逆に、つらいなと思う時はどんなときですか？

消防士になりたての頃は、いわれたことが何度やってもできず、理想

とは程遠くて落ち込むことがかり。とにかくつらくて毎日周囲にやめた

いっていました。その頃よく会っていた友人からは、今でもネタにされるくらいです(笑)。3年ほどして、やっと「自分のペースでがんばろう」と割り切ることができ、それから

つきものが落ちたように楽になりました。自分にとっては高校時代のけがの経験がどん底のボーダーライン。つらいときは思い出して、自分を奮い立たせています。

どのような消防士を目指していますか？

子どもたちにかっこいいと思われ  
る消防士です！

先輩方と接していると、全員が強い意志を持って活動されていると感じます。質問をすると、1人1人違った考え方の答えが返ってきて、各々が自分自身の考えや信念を持って任

務に臨んでいることを強く実感します。また、間違えたことをいい訳せずはつきりといえることも簡単なようでなかなかできないことです。自分も胸を張って、子どもたちのお手本となるような消防士を目指したいです。

丹羽消防署の一日を教えてください

朝の8時半から翌朝8時半までの勤務が1クールです。

朝出勤すると、まずは7台ある車両点検から始め、その後、その日1日の動きの打ち合わせをします。出勤以外は基本訓練をおこなっています。訓練の内容は3種類あり、救急処置の訓練、交通事故の救助の訓練、

火災現場の訓練です。昼休憩、夜休憩をはさみ、合間で事務作業や無線のやり取り、個別の筋トレもおこなっています。夜の10時からは緊急時のための待機勤務。約2時間ずつを、2人ペアで交替しながら朝を迎えます。署内で仮眠をとるので、いかに早く眠りにつけるかが勝負です！

11月9日から全国火災予防運動が始まります。  
昨年の火災件数と今年の出動の傾向を教えてください。

昨年の火災件数は、大口町12件、扶桑町11件の計23件でした。今年はずでに19件（8月22日取材時）発生しています。

今夏は火事以外に、「新型コロナウイルス感染症第7波」による患者や熱中症の患者対応が多く、1日10件に上ることも。新型コロナウイルス感染症が疑われるときは、車両にア

不測の緊急事態が起こったときに頼りにする119番。  
119番通報するときの注意点はありますか？

大口町で119番通報すると、小牧市にある「尾張中北消防指令センター」という場所につながります。

このセンターでは、6市3町（北名古屋市、清須市、豊山町、小牧市、犬山市、江南市、扶桑町、大口町、岩倉市）の広域を網羅していますので、まずは現在地を確実に伝えてほしいと思います。住所がわかれば住所を、わからなければ目標物を伝えていただければ大丈夫です。指令センター

インレクションフード（感染防護用フード）を装着し、防護服を着用するため、通常より手順が増えるので、より迅速さや的確さが求められます。また、真夏の任務は暑さとの闘い。4月から「暑熱順化」という暑さに慣れる訓練をして、真夏の暑さに備えています。

職員が誘導してくれますので、質問通りに落ち着いて答えてください。

### 丹羽消防署からのお知らせ

みなさんの家の寝室、階段に設置されている住宅用火災警報器。義務設置から10年以上が経過しています。

ほとんどの住宅用火災警報器は電池で動いています。正常に作動していない可能性や、故障している場合があります。点検ボタンを押すか、点検ひもを引くことで簡単にテストができます。命を守るものですので、一度確認してみてください。

#### 定期点検

##### ①点検ボタンを押す



①か②を試し、正常に作動するか確認してみましょう。

#### 取材にて

命を救うという気の抜けない任務を日々こなされている黒谷さん。そんな厳しい日々の中でも、目標にしている大会があるそうです。それが「消防救助技術東海地区指導会」という消防活動の技術を競う大会。丹羽消防署内の選考を勝ち抜き、7月30日の大会に出場しました。

「まさに大人の部活です！」とのこと。丹羽消防署は「引き揚げ救助」と「ロープブリッジ救出」の2種目に出場し、「引き揚げ救助」で2チーム中6位となりました。「先輩方は、手の動きが早くて無駄がないんです。自分ももっと練習して、来年こそ全国大会出場資格である2位以上を目指します」と元アスリートらしい闘



▲消防救助技術東海地区指導会に出場した黒谷さん

志を見せる黒谷さん。端正な横顔にプロの厳しさも垣間見えました。「つらい」と感じるのも、命を守るという重責を真正面から受け止めているからこそ。「消防士に必要な資質は？」との質問に「やる気ですかね」と答えてくれましたが、お話を伺いながら「命に向き合うことへのまじめさ」なのではないかとも感じました。いつかきっと子どもたちが憧れる消防士となれることを確信しました。